

子どもと作る 世界料理教室

イギリス編



コロナ禍で2年間延期となっていた世界料理教室イギリス編が9月11日(日)に開催され、子ども12名を含む29名が参加しました。講師は国際交流員のフィリップ・トレスさんです。

初めにイギリスの国や文化についてクイズを交えた説明があり、子どもたちも楽しんで答えていました。イギリスの食べ物で紹介では、日本では馴染みのないMarmite (マーマイト: ビール酵母を主原料としたペースト) やPickle (刻み野菜を漬けた甘めのピクルス) の匂いを実際に嗅いでみました。イギリスでも好みが分かれるマーマイトの独特の匂いには、顔をしかめている子どももいました。「サンドイッチ」という名前の由来や料理の特徴につ

いて説明があった後、調理に入りました。

スコーンとショートブレッドは、生地を混ぜたり、伸ばしたり、型をとったりと子どもにも簡単にできる作業が多く、親子で楽しそうに作っていました。きたなかふあーむさんからいただいたきゅうり、たまご、パテのサンドイッチもおいしくできました。感染予防のため持ち帰って食べることにしましたが、「コロナ禍でみんなで料理をすることがなかったので良い機会だった」と参加者から感想がありました。

「イギリスでは来客があった時に気軽にアフタヌーンティーを楽しみます。特にスコーンは簡単に作れますよ」とフィリップさん。みなさんもぜひ作ってみてください!



フィルの

British English

Hi guys! (やあ! 皆さん)

さて、「guys」が「皆さん」という意味になるのが何故だかご存じですか? 英語の「guy」はGuy Fawkes (ガイ・フォークス) という人に由来しています。

1605年11月4日にガイ・フォークスがイギリスの国会議事堂の地下を爆発させようとして逮捕されました。翌日の11月5日に、王様のジェームス1世の無事を祝って、ロンドン中で焚火が行われました。その焚火では「ガイ」の肖像を燃やしま

した。それが現在まで続く「ガイ・フォークス・デイ」という大きな行事になっています。

この「ガイ」は最初はテロリストという意味でしたが、しばらくして「悪い男子」を意味するようになりました。それから、ただ「男子」という意味になって、今では「女子」という意味でも使えるようになりました。言葉の意味がだんだん変わってくるのは面白いですね!

Thanks for reading guys!

イベント案内

※各イベントとも要申し込み、先着順です。
※諸事情により中止・延期および内容が変更になる場合があります。

後期新規会員も募集中!



ハロウィンパーティー

日時: 10月30日(日) 13:30~15:30
場所: コミセンきたの
テーマ: 世界のヒーロー 仮装コンテストあり
参加費: YIFA会員 400円 非会員 800円
小学生 500円 小学生未満 200円
家族参加は大人2人につき子ども1人無料
定員: 70名 ※食事はありませぬ

日本語指導者養成講座

日時: 11月13日(日) 13:30~16:30
場所: コミセンやす
対象: 日本語指導をしている人 興味のある人
内容: やさしい日本語で教えるコツ
受講料: YIFA会員 500円 非会員 1,000円
定員: 30名

多様性に満ちた国 スーダン

日時: 12月11日(日) 14:00~15:30
場所: コミセンやす
講師: ラヤーン ハミド さん
参加費: YIFA会員 無料 非会員 500円
定員: 30名

ベトナム語入門講座

~6回シリーズ~
日時: 2023年1月21、28日 2月4、11、18、25日 毎土曜日 10:00~11:30
場所: コミセンやす(予定)
講師: 大塚 ブオン さん
受講料: YIFA会員 5,000円 非会員 6,000円
定員: 12名 (最小開催人数8名)

カルチャー教室 ~秋のハイキング~ 希望が丘で紅葉狩り

日時: 11月20日(日) 10:00~15:00(予定)
コース: 野洲市役所→希望が丘文化公園 西ゲート→おとめの滝→かえでの森(日本庭園)→西ゲート
参加費: YIFA会員 無料 非会員 200円
定員: 20名 ※昼食、飲み物等持参

世界料理教室

トルコ編
日時: 2023年2月12日(日) 10:00~14:00
場所: コミセンきたの(予定)
講師: ヤルチュン ブスル さん
参加費: YIFA会員 700円 非会員 1,100円
定員: 25名

YIFA

2022年10月 第90号

野洲市国際協会 〒520-2395 滋賀県野洲市小篠原2100-1野洲市役所 TEL:077-586-3106 FAX:077-586-3139
URL: http://www.yifashiga.org E-mail: yifa@gaia.eonet.ne.jp

イーファメイト 発行日: 令和4年10月15日 編集: 広報部会

ワールドウォッチング



ネパール 冒険のパラダイス



5月29日、カナル・アンザンさんを講師に招き、母国ネパールについて話していただきました。アンザンさんは13年前に来日し、1年半日本語を学んだ後、大学院に入学。卒業後は岐阜の企業に就職し、現在は野洲市の企業に勤務しています。



地理・気候

西北から南東方向に細長い国ですが、南から北に向かうにつれて標高が高くなっていき、その高低差は8,800mにもなります。そのため、インド国境付近の低地部は「タライ地域」、中間部は高原平地の「バハッド地域」、北のヒマラヤ山脈部は「ヒマル地域」と区分され、気候はそれぞれの地点で大きく異なります。面積は日本の3分の1程度、人口は約2,800万人です。

国旗

国旗に描かれた月と太陽には、「国が月や太陽と同じように持続し発展するように」という願いが込められています。また、赤は「国民の勇敢さ」を、青は「平和」を表しています。

見どころ

ネパールには多くの世界遺産があります。首都のカトマンズもそのひとつで、中間部の高原平地にあって人口が約84万人の街です。近郊にある「スワヤンブナート」は、ネパールで生まれた仏陀を祭る仏塔がある寺院として有名です。他にヒンドゥー教の神様シヴァを祭る「パシュパティナート」、ヒンドゥー教の108の神様をそれぞれ祭る「パタン」など、いずれも世界遺産に登録されています。

観光と言えばヒマラヤ山脈は外せません。そこに9つ存在する8,000m級の山々の内、K2(パキスタン)を除く8

スワヤンブナート



その他、教育や産業、ネパールでの家族の様子なども紹介していただきました。最後に、野洲のネパール料理店「ナマステ・ブジャ」さんの協力でナンやカレーの作り方をビデオで見せていただき、サモサのお土産もいただきました。自由に海外旅行ができるようになれば、ネパールは是非訪れてみたい国のひとつですね。



ポカラ

個がネパールにあります。カトマンズから西方の場所にある「ポカラ」は湖畔から眺めるヒマラヤが絶景。カトマンズから東に30kmの場所にある「ナガルコット」からは素晴らしいエベレストが望めます。また、アンザンさんの出身地にある「チトワン国立公園」はタライ平原の一角に位置するジャングル保護区で、これも世界遺産です。このように自然豊かなネパールには多くの素晴らしい観光スポットがあります。

料理

朝と晩に食べられるのが「ダルバート・タルカリ」です。ダルと呼ばれる豆のスープ、タルカリ(カレー)、野菜の付け合わせと御飯がワンプレートに盛られています。その他、肉まんに似た「モモ」、お好み焼きのような「チャタマリ」、揚げ餃子の「サモサ」など、おいしいものばかり。伝統的な酒「トングバ」は木製のマグに入れて出てきて、お湯割りにして麦を噛みながら飲むととてもおいしいのだそうです。



ダルバート・タルカリ



トングバ

ワールドウォッチング in English

～文化のちがいについてディスカッションしよう～

7月7日～22日の間に全6回のワールドウォッチングを英語で開催し、講演者と参加者が共に文化のちがいについて語り合いました。開催国は、イギリス、マレーシア、マラウイ、フィリピン、ニュージーランド、アメリカの6カ国です。その全てに参加された福澤菜々子さん（高校1年生）に感想をいただいたので紹介します。

野洲市国際協会を半年前ほどに知り、今回のイベントに参加しました。日本で生活されている外国の方が母国についてall Englishで紹介するクラスでした。Speechが終わった後は英語でDiscussion timeがありました。参加されていた方は英語が流暢に話せる方が多く、初回に参加した時は驚きました。

私は、日本とは違う食文化や伝統文化、民族衣装、宗教に興味を持ちました。特に面白いと思ったのは、マレーシアの大半の人はイスラム教を信仰しているため豚肉を一切食べないのに対し、フィリピン人の食事は豚肉がたくさん使われていることです。豚の耳まで食べたり、めでたい事があると豚の丸焼きを食べたりしていてマレーシアと正反対だなと思いました。

他にも、国内でも地域によって話す言語が違うことが不思議

でした。例えば、イギリスです。国内全域でイギリス英語を話すのではなく、ある地域を境に文法や発音、英単語の意味が異なることを知りました。イギリス国籍の人でも理解できない国内の言葉があると聞いて面白かったです。

異文化に元々興味を持っていた私にとって、このイベントはとても刺激的でした。学校で習ったこととは違うリアルな生活を知ることができました。ネイティブスピーカーの英語を聞き取るのは正直ハードでしたが、外国の方と異文化を理解し合うのは今までにない素敵な体験でした。3年間の留学を目前にこのような経験ができて、なんとか海外生活も頑張っていけそうだと自信ができました。日本に戻って来た時はまた、野洲市国際協会のイベントに参加してみようと思います。

(福澤 菜々子)



Summer English Club



8月に5日間の小学生対象の英語クラブを開催しました。今年は児童9名（5年生7人と3年生2人）が参加しました。90分は小学生には長いと思ったのですが、毎日があっという間でした。先生は私（フィル）だけではなく、オーストラリア人の2人、アメリカ人、シンガポール人等のボランティアも来て、子どもたちにとってとてもいい経験になったと思います。

クラスの最初に、単語やフレーズを学習してから、それらを使ってゲーム等を行いました。例えば、体の部分を習ってから神経衰弱でその単語を覚えました。その後、'Do you have~?' を使いながら、相手のキャラクターカードを予想する 'Guess

Who' というゲームをしました。このような体系的な練習は子どもたちの英語力アップに役立ちます。

また、もう少し自由に英語が使える活動も楽しんでいました。例えば、最後の日に、ある単語を英語だけで説明する 'Describing Game' をしました。その活動は難しかったのですが、子どもたちはうまく英語でコミュニケーションができたので、以前より自信をもって英語が使えるようになったと思います。

今年のイングリッシュクラブは毎日がとても楽しかったです。来年のクラブも楽しみにしています！

(フィリップ・トレース)



英語でTea Party

YIFAの「英語でTea Party」では外国の方とたくさんお話が出来るととても楽しいです。決まったゲームもあり、初めのコミュニケーションがとりやすいのもうれしいですが、いろんな国の方がいらっしやるので、その国の文化や考え方に触れたり、その国のお話が聞けたりするのも楽しいです。食べ物のお話をしたり、映画のお話をしたり、時に話が脱線するような自由な雑談がメインな部分もあるので、英語があまり話せなくても話を聞くだけでも十分楽しめます。

外国の方は皆さんとてもフレンドリーです！すぐに仲良くなれるので日本人同士で話すよりも話しやすかったりと意外な面もあると思います。なので、英語が話せなくても誰かと出会いたいと思っている人にもおすすめかもしれません。Tea Partyは英会話を習うとかそういうものではなく気軽に楽しめるのが他にはない良さだと思います。

今は年に6回ほどですが、もっとこのような交流できる機会が増え、多くの人に参加してもらえるといいなと思います。

(花尾 希望)



あの人 この人

世界の国から

今回は、YIFA金曜英語サロンの講師マークさんにお話を伺いました。トロント出身のマークさんは、日本人の妻と7才になる娘と3人で栗東に住んでいます。フィットネストレーナーでもあり、YIFAのEnglish Fitness Classも担当されています。



どのようなきっかけで日本に来られたのですか

最初は大学卒業後にJETプログラムでALT教師として来日しました。日本のアニメが好き(特に北斗の拳)なので日本を選びました。京都の木津川の学校に4年間いましたが、とても良い学校でスタッフも親切でしたし、本当に幸運でした。その後、EXPO Cityや大学でも仕事をしました。今はYIFAの他、企業の英会話教育などに携わっています。

日本での生活はどうか

トロントはいろいろな国の人が集まっています。子どもの頃から他の国の文化にも言葉にも慣れていたので、日本に来て大きく戸惑うことはありませんでした。以前は、将来はカナダに帰ろうと思っていましたが、妻や私の仕事が順調なのでプランが変わりました。娘も学校では友だちがたくさんいて、ダンスクラブ、そろばん、インターナショナルイングリッシュクラブにも通っていて忙しいです。

日本に来てカルチャーショックはなかったのですか

日本に来てすぐ、スーパーマーケットの肉の販売の仕方に驚きました。カナダでは1週間はそのまま店頭で並んでいます。日本ではすぐにディスカウントされて、毎日のように新しくなります。信じられませんでした。それから、最初は日本人の真面目さに驚きました。

でも今はその真面目さに感謝しています。日本人たちはマスクを着用する事を否定せず、日本の生活は80~90%普段通りでした。日本人はルールでガチガチだと思うこともありましたが、海外の状況を見て日本がとても良いことがわかりました。

YIFAの英語クラスはいかがですか

今、入門クラスが3年目、中級クラスが2ヶ月目になります。入門クラスは皆さんレベルが上がってきているので「入門」ではなくクラス名を変えないといけないかなあ。プリントを使っている学習ですが、メンバーそれぞれが積極的に参加し、スピーキング力も付くように進めています。中級クラスはスピーキングを中心に学習しています。積極的な人が多く、その時々話題に関する意見を言い合ったりして活発です。

YIFAでフィットネスを教えようと思ったきっかけは何ですか

私は大学の時からフィットネスのトレーナーをしていました。また京都でもイングリッシュフィットネスクラスを持っていました。もともと父が身体にとて気をつける人で、その影響で私は健康について関心があり、大学での専攻もKinesiology (Health Science) だったので。私のフィットネスはハードなものではなく、シンプルな基礎的な運動です。楽しく、心地よく、リフレッシュできる場になることを心がけています。

日本人はよく運動すると思いますか

他の国よりも運動すると思います。栗東でも多くの人がジョギングしています。子どもたちも外で遊んでいますね。Cov19が日本であまり広がらなかったのは日本人がよく身体を動かすからだとは個人的に思っています。

今後の生活はどのように考えていますか

私のビジネスが順調に進み、家族、友人、みんなが健康で幸せでいることが願いです。私はこれからも英会話と英語フィットネスの先生でありたいと思っています。娘は日本語と英語のレベル差はあるものの、どちらでもコミュニケーションが取れます。家族がジャマイカ、カナダ、イギリス、アメリカにいたので、国を選ばず、好きな大学に進んで欲しいと思っています。

子どもの頃、ご両親から「Be nice to people」と教えられて育ち、そのおかげで日本語が話せなくてもsurviveできたと言われていました。パワフルで誠実な人柄でファンも多いマークさん。今後ますます活躍されることを期待します。



Mark's English Fitness Class



日頃の運動不足が気になり、何かトレーニングをしようと思っていた時に、マーク先生のフィットネス教室が開催されると聞き、7月から参加しています。フィットネスは初めてで、初回は少し緊張しましたが、音楽に合わせて体を動かす汗を流しました。

回を重ねる毎に、マーク先生の説明を聞きながら「今、どこが伸びているか、どこを鍛えているか」と意識できるようになってきました。私は自宅で毎日お風呂上がりにストレッチをするのですが、その様子を見て主人もストレッチを始めました。

人生100年時代と言われて久しいですが、これから年齢を重ねてもいつまでも健康で、自分で動ける体でいられるよう、運動は続けていきたいと思っています。(伊東 成子)



中学生が職場体験にやって来た!

6月15日～21日の5日間、野洲北中学校から2年生の2名を職場体験に迎えました。職場体験を受け入れることはYIFAにとって初めてでしたが、まずはYIFAのことを知ってもらおうと考え、日常の活動にスタッフとして参加してもらいました。二人に感想を書いてもらったので紹介します。

職場体験を通して

私は野洲市国際協会に職場体験として野洲北中学校から来ました。学習の目的は、「働く」という経験を通して自分の進路や生き方について考えることです。

職場体験が始まった1日目は英語サロン入門クラスに参加しました。入門クラスでは、カナダ人の先生と私を含めた参加者の皆さんと二つのグループに分かれて英語で動物ゲームをしました。わからないことがあったら辞書で調べ、お互いに助け合いながら英語で会話をします。参加しているときは、楽しくて時間があっという間に流れていくように感じました。

また、日本語教室にも参加しました。日本語教室では、日本人の先生と共に外国(パキスタン・シンガポール)の方に日本語を教えることを手伝いました。すぐろくや百人一首を通じて日本語や日本の文化について知ってもらいます。先生が伝わり

やすいように身振り手振りで教えていることを、外国の方が必死に覚えようとしている姿に感動しました。

最終日には保育園にゲストティーチャーとして行きました。私たちが事前に作った食べ物カードで、日本とほかの国の食べ物の違いについて子どもたちに考えてもらいました。そして、食べ物バスケットで好きな食べ物を言う練習をしました。

この5日間の体験を通して、職場の方は人との関わりを大切にしていると感じました。「働く」とは、お金をもらって自分の生活を支えていくものだけでなく、困っている人や努力している人をサポートし人々を笑顔にすることだと気づきました。

野洲市国際協会は、外国の方や事務所の人たちの声でにぎやかです。笑い声であふれています。ここではイベントがたくさん開催されているので、ぜひ参加してみてください!

(岩井 英香)

図書館へ行こう!

6月18日に野洲図書館&銅鐸博物館へ行きました。シンガポール、カナダ、マレーシア、ブラジル等の出身者を含め30名ほどが参加し、英語と日本語のチームに分かれて館内を見学しました。

図書館では、色々な国の本があるコーナーを紹介してもらったり、書庫の中を見せてもらったり、本を返却する方法などを教えてもらったりしました。参加者の中には、図書館貸出カードを作っている方もいました。綺麗に並んでいる本を見て、皆さん楽しんで見学されていました。

銅鐸博物館では、銅鐸が作られた時代や、銅鐸にはなぜこんな模様が描かれているのか、なども教えてもらいました。そのほかにも、どこで銅鐸が見つかったのか、銅鐸が作られた

時代にはどのような出来事があったのか、銅鐸の作り方は…など、日本人の私たちも知らなかった「なるほど」と思う内容が書かれていました。

これらの体験を通して、ひとつのことを一緒にすることで自然と交流が深まっていくことを知りました。興味のある方は是非、野洲市国際協会のイベントに参加して、交流の輪を広げていきましょう!

(大島 好葉)

日本語教室スピーチ大会

9月17日、記念すべき第1回のYIFAスピーチ大会がコミセンやすで開催され、9人の出場者がありました。それぞれのスピーチには、日本の暮らしの中で感じたこと、これからの夢、そして母国への限りない愛情などがあふれていました。

私たちがこのスピーチ大会を企画した理由は、学習者に教室と違う環境で、気軽にスピーチできる場を提供するためです。自分の考えをまとめ原稿を作り、声を出して何度も読み返し、それを覚えスピーチする。これは決して楽な作業ではありません。これをやり遂げた発表者は、それぞれの満足感と自信を得たことでしょう。もちろん指導者の丁寧なサポートも欠かせません。その結果、我々自身のスキルアップにもつながります。

なお今回は、既存のスピーチコンテストのように、順位付けはしませんでした。今後、この点も含めて十分に話し合い、次回のことを考えていきます。このスピーチ大会に参加され、またご支援をいただいた皆さんに心より感謝いたします。(久保田 隆)

スピーチ内容要旨

都会か田舎かどちらに住んだ方が良い?

ドー ティエン クオン(ベトナム)

都会に住みたいと思い、高校卒業後にハノイに引っ越しました。5年くらい住んで、都会暮らしは嫌いじゃないけれど田舎で暮らしたいと気付きました。今住んでいる野洲は、買い物にも簡単に行けるし、近所付き合いも深く、つながりが作れます。仕事が終わって、野洲川沿いを散歩しながら、音楽を聴いたり、景色を眺めたりする、これは幸せな生活だと思います。

私の農業体験

マグダレーナ ローマイヤー(ドイツ)

私は農場で育ったので農業が大好きです。大学で農業を勉強し、アグリカルチャーインターンシップで4月の終わりに滋賀県に来ました。ホストファミリーは琵琶湖の近くで野菜や米などを育てています。私は小松菜の収穫やニンニクの掃除をしたり、トラクターで代かきをしたり、大豆を撒いたりしました。日本で仕事をするのは楽しいです。

わくわくする日本での新生活

トン ホ(中国)

激しい運動と観光が好きです。守山で同僚とサッカーをした後、みんなでお風呂に入りました。お風呂の窓から琵琶湖のきれいな景色が見えて気持ち良かったです。7月に京都の祇園祭に行きました。たくさんの方がいて、おいしい食べ物がありました。コンサートも行きました。祇園祭はきれいで面白かったです。

日本で蝶になるために

高岩 令愛(フィリピン)

母国フィリピンでは安定した仕事、家族や友人と共に、蝶のように自由に充実した日々を過ごしていました。結婚で日本に移り住み、私は再び卵となって、新しく言葉や文化などを学び始めることになりました。日本では面白い瞬間や衝撃的な体験がたくさんありました。経験は最良の教師です。日本に来て3年、卵から幼虫になりつつあります。また蝶になって、目標や夢に向かって頑張っていきたいです。

日本語で自己紹介します

ウラ イスマット(パキスタン)

私はパキスタンのパシャワールから来ました。家族は9人です。日本語の勉強をしています。パキスタンではクリケットやホッケーが盛ん

です。有名な食べ物はビリヤードです。自然が美しい国です。皆さん、ぜひ遊びに来てください。

光かがやく島

プラディーブ ラクマール(スリランカ)

スリランカはシンハラ語で「光かがやく島」という意味です。インド洋に浮かぶ美しい島国で、中南部には高い山、海岸にはたくさんの砂浜とラグーンがあります。素晴らしい「光かがやく島」に生まれて、私は幸せです。でも、日本に働きに来て、日本の工業技術は素晴らしく、人々もとても親切だと気付きました。学んだことや経験したことを忘れずに、スリランカに帰っても頑張ります。

日本の生活で思うこと

包 連生(中国)

初めて同僚と料理店に行った時「乾杯」と言って、私はビールを飲み干しました。みんなのコップを見て「なんで残すの?乾杯ではないの?」と疑問を持ちました。中国では「杯を干す」という意味で、飲み干さなくてはならないというルールがあります。日本ではこの言葉はお酒を飲み始める挨拶言葉のようです。文化の違いや暗黙のルールを理解していきたいです。

国際結婚ビギナーズガイド

アンドリュー ムブラ(マラウイ)

国際結婚には3つの段階があります。「ハネムーン段階」は相手の全てに興味深く甘いです。「現実段階」になると新しい文化を学ぶことが楽しくなくなり、違う言語でコミュニケーションするのが嫌になります。「妥協段階」ではケンカに疲れ、中間点を見つけ、新婚時代を再現しようとしています。私はというと、まだハネムーン期を楽しもうとしているところです。

私の母国、スーダン

ラーヤン ハミド(スーダン)

スーダン人にとって身近で大切な食べ物のひとつにデザート(ナツメヤシの実)があります。断食の後によく食べます。ミネラルやビタミン、植物繊維を多く含み栄養豊富だからです。また、ナツメヤシは建築資材、籠や敷物の材料、葉など様々な用途があり、私達の生活の中で重要な役割を果たしています。皆さんもデザートをたくさん食べてください。

スピーチの様子をYouTubeでご覧いただけます。



YIFA YIFA YIFA 私たちは国際交流事業を応援しています YIFA YIFA YIFA

ゼラチンとコラーゲンの専門店
株式会社 **ジェリ**
Tel:077-588-3000/Fax:077-588-3004
〒520-2362 滋賀県野洲市三宅1013

公式サイト ショッピングサイト インスタグラム YouTube

未来の化学のお手伝い

ライトケミカル工業株式会社

YIFA YIFA YIFA 私たちは国際交流事業を応援しています YIFA YIFA YIFA

森野内科医院
〈診療時間〉午前9時～12時・午後5時～7時
〈休診〉木曜・日曜・祝日(火曜・土曜…午後休診)
JR野洲駅北口から北へ徒歩3分 TEL **587-3636**
野洲市北野1丁目19-33 (077)

野洲市金融協議会
滋賀銀行 滋賀中央信用金庫
関西みらい銀行 JAレーク滋賀